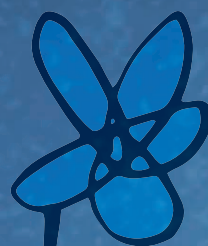
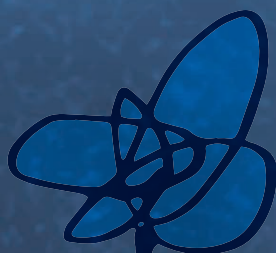




HEKIYOUKAI

辟 雍



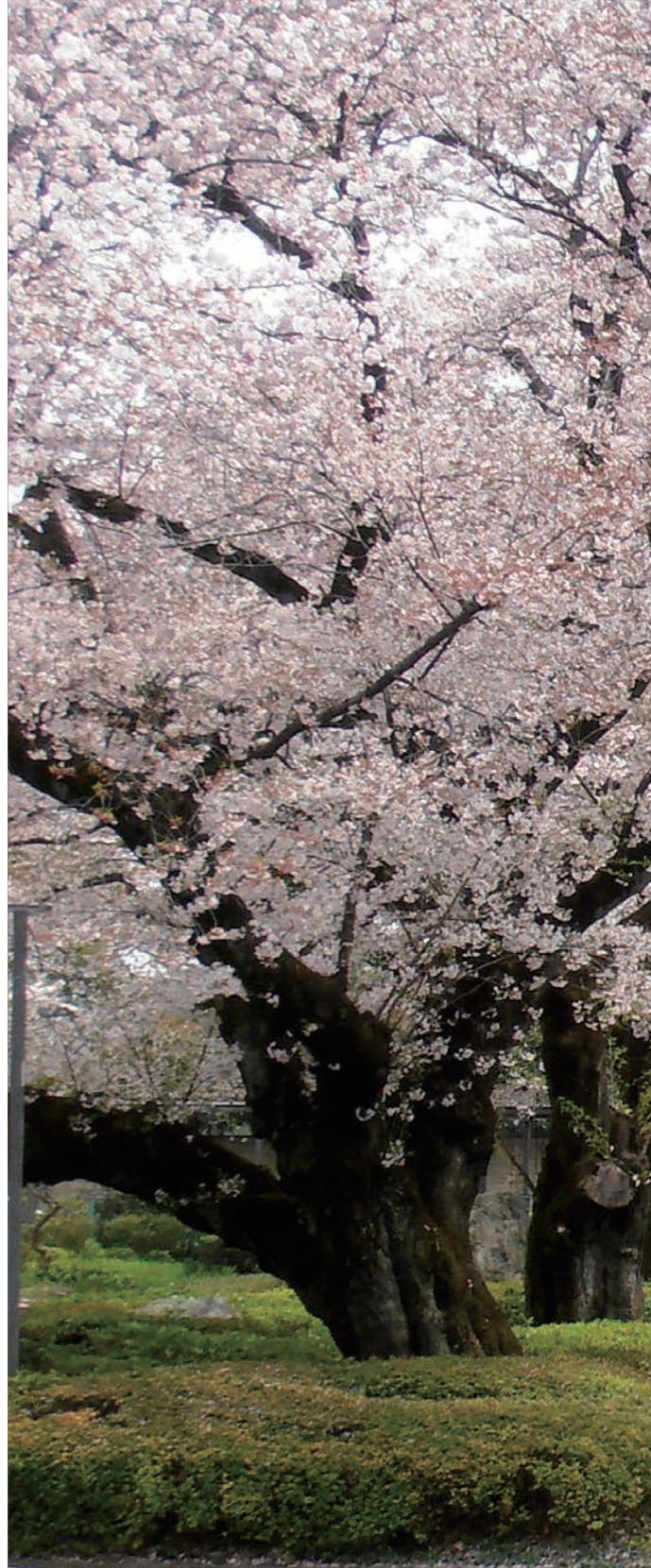
2021年 第18号

東京学芸大学辟雍会機関誌

辟雍 第18号

目次

会長挨拶	長谷川 正	2
沿革		3
支部支部設立状況・支部便り		4
支部連絡先一覧		11
会員から	松村 茂治	12
	卜部 蘭	14
	葉 一	16
	北澤 佑子	18
	長坂 祐哉	20
	平井 信行	22
修学支援金貸与の実績		24
2021年度各部の活動		24
あとがき		26



本会は東京学芸大学の学部等の学生、
同窓生、教職員で構成されています



名所桜伐採 昔日の本館前桜並木

2021年会長挨拶

長谷川 正

コロナ禍となってもう2年以上になりますが、皆様お変わりなくお過ごしのことと思います。

8月をピークに全国での新規コロナ感染者数が減少し、11月からは200以下の日が続くようになり、感染症が終息するかと期待していましたが、新たにオミクロン変異株による感染拡大が懸念される状況になっています。感染拡大が起こらないことを祈るばかりです。

2021年はホームカミングデーも本会の全国代表者会議も開催することができず話題も暗くなりがちですが、明るいニュースもいろいろありました。二刀流の大谷翔平選手のメジャーリーグでの活躍は、野球に興味のなかった方も大いに関心を持たれたのではないのでしょうか。メジャーリーグMVPは素晴らしいと思います。この大谷選手が日本ハムに所属していた時の監督が、本学の卒業生の栗山英樹さんです。2023年3月に開催予定のワールド・ベースボール・クラシックの侍ジャパン監督になられましたので、皆さんと応援したいと思います。8月に開催されました東京オリンピック・パラリンピックは、ほとんどが無観客となってしまいましたが、テレビの前で応援された方も多かったのではないのでしょうか。卓球男女混合ダブルスの水谷隼・伊藤美誠ペア、柔道の阿部一二三・詩兄妹、競泳女子の大橋悠依選手、ソフトボールの女子チーム、車いすテニスの国枝慎吾選手等、多くの日本人選手の活躍が記憶に残っていることと思います。本学卒業生のト部蘭さん(積水化学所属、2017年度芸術スポーツ文化課程生涯スポーツ専攻卒業)もオリンピック陸上競技女子1500mに出場し活躍されました。スポーツ界では、大坂なおみ選手の全豪テニス大会での優勝、松山英樹選手のマスターズゴルフでの優勝、大関昇進後に怪我や病気で序二段まで陥落した照ノ富士関が復活して横綱昇進、将棋界では藤井聡太四段が最年少四冠を獲得の明るい話題もありました。

また、90歳になられた真鍋淑郎博士のノーベル物理学賞受賞のニュースもありました。真鍋博士は、CO₂量が2倍になると地球の表面温度が2℃上がることを、複雑な関係を物理法則に基づいて数値モデル化して大型コンピューターを使って予測されました。今ではPCでコンピュータシミュレーションもできるようになりましたが、研究を開始された1960年代には地球温暖化という言葉すらなく、太陽の周期的活動等から地球は寒冷化するとの予測もありました。博士の業績は、人間活動による温暖化の影響を探る研究の基礎となり、温暖化対策の科学的根拠となっています。

11月には英国グラスゴーで国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議が開催されましたが、これに合わせ、海面上昇で水没の危機に直面している南太平洋の島国ツバルの大臣が、スーツにネクタイ姿で膝まで海につかりながら気候変動対策を訴える印象的な姿が新聞に載っていました。

コロナ禍で変わったことが皆様の周りにもあるのではないのでしょうか。人との接触を避けるために冷凍ラーメン等の食品が自販機で売られています。これが可能になったのは、様々な形の包装に対応できる自販機が開発されたからです。コロナ禍でなかったらラーメンの自販機なんて必要とされなかったのではないのでしょうか。制限された生活の中でも、感染症を乗り越えていくための努力や工夫が続けられています。大学の授業のオンライン化も、これからの教育に必ず役立てることができると思います。辟雍会も新しい試みをして、会員の皆様との交流を活性化して行きたいと思っています。2022年には、ホームカミングデーと本会の全国代表者会議を開催できるようになることを願っています。

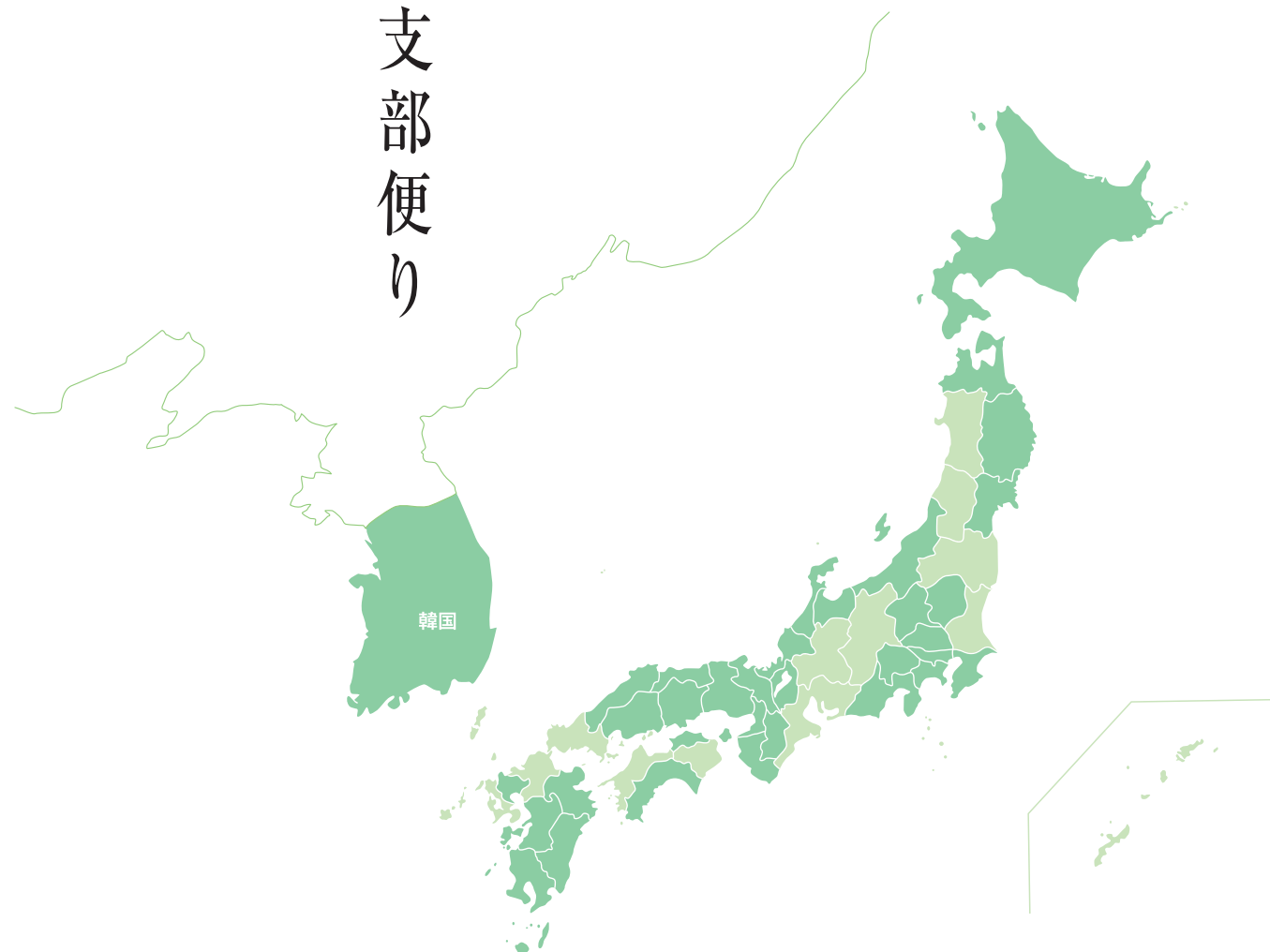
【会長略歴】昭和46年本学卒業。東京教育大学修士・博士課程修了後、米国シガン州立大学博士研究員を経て、昭和55年本学赴任。この間有機化学の研究に従事し、本学赴任後は、化学教育の研究にも従事し、平成24年日本化学会化学教育賞受賞。平成25年定年退職。同年より令和2年3月まで理事・副学長。同年4月より本学会長。平成26年より日本化学会フェロー。



沿 革

2003.11.03(平成15)	「辟雍会(東京学芸大学全国同窓会)」創立
2003.11.03(平成15)	荒尾禎秀会長就任
2003.12.07(平成15)	青森県支部設立
2005.07.02(平成17)	石川県支部設立
2005.08.22(平成17)	富山県支部設立
2005.10.01(平成17)	岩手県支部設立
2006.02.25(平成18)	千葉県支部設立
2006.04.01(平成18)	荒尾禎秀会長再任(2期目)
2006.10.01(平成18)	島根県支部設立
2007.06.24(平成19)	高知県支部設立
2008.04.01(平成20)	長谷川貞夫会長就任
2009.08.01(平成21)	北海道支部設立
2009.10.31(平成21)	東京学芸大学創立60周年記念シンポジウムを本学と共催
2010.04.01(平成22)	鷺山恭彦会長就任
2011.01.29(平成23)	岡山県支部設立
2011.02.27(平成23)	鳥取県支部設立
2011.03.26(平成23)	静岡県支部設立
2011.08.28(平成23)	新潟県支部設立
2011.10.30(平成23)	広島県支部設立
2011.11.26(平成23)	神奈川県支部設立
2012.04.01(平成24)	鷺山恭彦会長再任(2期目)
2012.08.17(平成24)	山梨県支部設立
2012.10.07(平成24)	鹿児島県支部設立
2013.07.27(平成25)	群馬県支部設立
2013.10.26(平成25)	近畿支部設立
2013.11.02(平成25)	本会を「東京学芸大学辟雍会」と改称 本会創立10周年記念祝賀会開催
2014.03.15(平成26)	佐賀県支部設立
2014.04.01(平成26)	鷺山恭彦会長再任(3期目)
2014.06.15(平成26)	栃木県支部設立
2014.10.11(平成26)	熊本県支部設立
2014.11.08(平成26)	大分県支部設立
2015.05.31(平成27)	埼玉県支部設立
2016.02.20(平成28)	宮崎県支部設立
2016.04.01(平成28)	馬淵貞利会長就任
2017.09.14(平成29)	韓国支部設立
2018.04.01(平成30)	馬淵貞利会長再任(2期目)
2018.08.17(平成30)	香川県支部設立
2019.08.30(令和元)	福井県支部設立
2020.02.22(令和2)	宮城県支部設立
2020.04.01(令和2)	長谷川正会長就任
2022.04.01(令和4)	長谷川正会長再任(2期目)

支部 便り



各支部の設立状況

番号	名称	設立年月日
1	青森県支部	2003.12.07(平成15)
2	石川県支部	2005.07.02(平成17)
3	富山県支部「獅子の会」	2005.08.22(平成17)
4	岩手県支部	2005.10.01(平成17)
5	千葉県支部	2006.02.25(平成18)
6	島根県支部	2006.10.01(平成18)
7	高知県支部「高知辟雍会」	2007.06.24(平成19)
8	北海道支部	2009.08.01(平成21)
9	岡山県支部「岡山辟雍会」	2011.01.29(平成23)
10	鳥取県支部	2011.02.27(平成23)
11	静岡県支部「静岡辟雍会」	2011.03.26(平成23)
12	新潟県支部	2011.08.28(平成23)
13	広島県支部「広島辟雍会」	2011.10.30(平成23)
14	神奈川県支部	2011.11.26(平成23)

番号	名称	設立年月日
15	山梨県支部	2012.08.17(平成24)
16	鹿児島県支部	2012.10.07(平成24)
17	群馬県支部「群馬辟雍会」	2013.07.27(平成25)
18	近畿支部	2013.10.26(平成25)
19	佐賀県支部	2014.03.15(平成26)
20	栃木県支部	2014.06.15(平成26)
21	熊本県支部	2014.10.11(平成26)
22	大分県支部	2014.11.08(平成26)
23	埼玉県支部	2015.05.31(平成27)
24	宮崎県支部	2016.02.20(平成28)
25	韓国支部「韓国辟雍会」	2017.09.14(平成29)
26	香川県支部	2018.08.17(平成30)
27	福井県支部	2019.08.30(令和元)
28	宮城県支部	2020.02.22(令和2)

北海道

支部発足以来、毎年8月上旬に開催してきた「辟雍会 北海道支部総会・懇親会」については、道内におけるコロナ禍の影響を踏まえ、残念ながら2年続けて見送ることになりました。

しかし、昨年11月に佐々木敏会長(当時)が逝去されたため、今年8月に臨時役員会を開催し、支部規約および役員体制の確認とともに、数年来の課題である ①支部活動継続のための運営費確保 ②活動内容の見直し ③道内在住者のネットワークづくりの進め方 等について、意見を交換する機会を持ちました。また、支部便

り「カムバックサーモン」第5号を発行し、会員の皆さんの近況報告やそれぞれの分野での活躍の様子を掲載することができました。

来年度の総会・懇親会は令和4年8月6日(土)を予定しています。事務局では、皆が笑顔で再会できることを願いながら、準備を進めて参ります。

北海道支部事務局長 中村雅之

近畿支部

全国の他の支部と同様に、2年弱に渡るコロナ禍の大きな影響に加え、支部運営の要、事務局長の県外転居もあり、実質的な活動・連携は十分にできていないというのが現状です。本学の現役学生たちもこのコロナ感染症の多大な影響を受け、苦勞の多い学生生活を過ごしておられるとのこと、将来的に少しでも頼りにされる支部であるよう、今後さらに歩みを進めていきたいと考えています。

その歩みの一歩として、近畿支部を将来的に解消し、まずは兵庫県支部と京都支部の設立を進めるべく、コロナ禍以前より連携を重ねていた京都府城陽市の北澤義之教育長を再訪問し、京都府支部設立に向けての支援を依頼してまいりました。京都府の関係者の方で連絡・相談等ありましたら是非、北澤先輩への連絡をよろしくお願いします。

なお、現在の近畿支部の事務局長は、「里 昭憲(kurosan19@gmail.com)」となっています。辟雍会の件でお尋ね等ありましたら、連絡よろしくお願いします。コ

ロナについてはまだまだ先の収束を確実に見通すことのできないのが現状です。兵庫県支部の設立も含め、対面でなくとも連携できる組織の在り方に取り組んでいきたいと思っています。

支部長 山本正実



R3.11.11京都府城陽市を訪問した際の左側から北澤教育長と山本・里

佐賀県

支部人数は、現在は16名(2021年12月現在)です。構成メンバーは、教育関係者が10名、マスコミ(テレビ局)3名になります。県外に転勤されているマスコミの方々、また、教職を退職された方々とも、コロナ禍ではありますが、連絡を取っているところです。来年こそは写真のようなバルーンに埋め尽くされた空を佐賀支部のメンバーで見上げる日が来ることを切に願っております。

いろいろな業種が混ざった佐賀支部です。これからもういろいろな可能性に挑戦したいと思います。

佐賀支部事務局長 小松原修



秋の佐賀の風物詩

栃木県

辟雍会栃木県支部は、2014年(平成26年)6月に設立、本年で、8年目を迎えました。栃木県内に在住する東京学芸大学の同窓生、約100名が、栃木県支部に登録しています。支部活動の第一は、栃木県の教育、文化、スポーツの魅力と未来を語る楽しい懇親会です。最近では、2020年2月22日、JR宇都宮駅前で、長谷川正辟雍会現会長をお招きして、支部総会、懇親会を開きました。長谷川会長の教え子が数名、総会、懇親会に初めて参加した方もいて、温かくて和やかな会になりました。また、栃木県内に就職しようとする在校生の方々には、栃木県内の教育状況、学校状況など、私たちの立場で、懇切丁寧な情報提供をします。また、数年前には、栃木県内で開かれた、「いろは坂全国女子駅伝大会」で、日光東照宮下、神橋の沿道で、東京学芸大学チームを、大旗を振って、応援しました。その後は、新型コロナ感染

症拡大で、総会も親睦会も開けていません。

新卒業生の方々の栃木県支部への入会を歓迎します。皆さんと語り合う日を楽しみにしています。

栃木県支部長 柏瀬省五



2020年2月22日 栃木県支部総会・懇親会

千葉県

千葉県支部は、船橋市やこの近隣の市町村に在住または勤務する卒業生の団体です。現在の会員数は36名で、県内の教職員や学校管理職の方、企業にお勤めの方、すでに退職され今でも教育に携わっている方など職種も年齢も様々になっています。毎年、市内から県内へと情報を伝達して会員の和を広げ、会員数を増やそうと考えています。

主な活動である定期総会懇親会では、会員の年齢差に関係なく、在学当時の思い出や卒業後から今日までの状況、近況報告などを交換しています。また、諸先輩からは、若手の会員の方々の悩みを受けたり、将来に対するアドバイスもおこなったりしています。

大学卒業後は、それぞれが社会に独り立ちしていくわけですが、将来に対する希望など、上司に相談する前にアドバイスを受けるといったケースも出てきました。

県内には、私たち千葉支部とは別に高校の管理職を中心とした先生方の団体もあります。千葉支部へ入会希望の学生諸君は、下記の連絡先でお待ちしています。

千葉県支部事務局長 石井康雄

(1982年A類数学科卒) (元船橋市立金杉台小学校長)

自宅住所: 船橋市前貝塚町1010-18

電話番号: 047-438-9380 (自宅) / 090-3472-3788 (携帯)



船橋市アンゼルセン公園

青森県

平成15年に第1号支部として設立し、早いものですに18年が経ちます。青森県支部は、正式に支部として発足する以前から毎年懇親会を実施しており、年に一度学生時代に戻って思い出話を花を咲かせ、東京で過ごした夢のような日々思いを馳せておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和元年7月28日以来開催することができておりません。今年度も代わりとして文書会議を実施し、会員に書面表決書の提出をしていただきました。

残念ながらすでに2年以上会員の皆様にお会いできていません。ただこれを書いている今現在(令和3年11月19日)、

全国的にもだいぶ落ち着いてきており、青森県も感染者数0の日が珍しくなくなってきました。なんとか次年度は3年分の想いを語り合える総会、懇親会を開催したいと意気込んでおります。また、毎年出席させていただいていた全国代表者会議が次年度こそ開催可能になり、本部や各県代表者の方々にお会いすることと共に、小金井祭で賑わう学内を歩くことをとても楽しみにしております。

青森県支部事務局長 里村 輝
(1998年N類生涯スポーツ科卒)

富山県

富山県の「獅子の会(辟雍会富山県支部)」は、昭和50年頃に、富山市小学校教育研究会体育部に偶然集まった数名の仲間の不定期な集まりから始まったそうです。その後、平成2年に規約と名簿を作成し、確認できた県内の卒業生全員に案内して総会・懇親会を開催して以来、毎年集まって親交を深めています。現在、県内在住の名簿搭載者は約300名となっています。

例年、8月下旬に総会・懇親会を開催しています。参加者は仕事も年代も様々ですが、歓談の中でサークルが同じだったり下宿が近所だったり、同じ年代を同じキャンパスで過ごしたというだけで共通の話題が生まれ、旧知の間柄のように話が弾みます。大学の特性上、教員が多いのですが、放送局の方や議員等職種も様々で、参加者全員が、あの日に戻れる貴重な場となっています。会の締めくくりは、いつも参加者全員が輪になって「若草もゆる」を歌います。学生時代にはほとんど歌うことがなかったこの歌を、この会に参加することで覚えたという方もたくさんおられます。そ

して、数年前に作成した獅子の会の旗のもとで写真を撮影して会を閉じます。

令和2年度、3年度は、コロナ禍のため開催できませんでしたが、私たちは、これからもこの会の絆を大切に、末永く会を育てていきたいと思っています。

獅子の会(辟雍会富山県支部) 事務局 草野 剛
(平成2年国語科卒)



「獅子の会」の旗のもと(平成29年度)

岡山県

令和2年2月8日に第10回東京学芸大学岡山辟雍会を開催しました。今から考えるとコロナが流行する直前に開催することができて大変幸運でしたが、まさかこのような事態になるとは夢にも思っていませんでした。今年は開催できず大変残念でしたが、幸い岡山も状況が落ち着きつつあり、令和4年の2月ごろに開催する予定で準備をすすめています。



また、所用で11月中旬に学芸大学を訪れた際、正門横の20周年記念飯島同窓会館に植樹されている岡山の「醍醐桜」が大きく成長している姿を見ることができ、大変うれしく思いました。この「醍醐桜」は、平成29年に学芸大から植樹の依頼があり、送らせていただいたものです。同時に送った「岡山県木の松」は時間の都合で確認できませんでしたが、大きく成長していることと思います。

このようなご時世で、皆様なかなかお忙しく、小中高大のそれぞれの行事もあり、日をあわせるのが難しい状況です。皆様のご意見をお聞きし、できるだけ大勢の方が参加していただける時期に会を開催できるように、尽力していきたいと思っています。

事務局長 宰相裕一
〒710-0252 倉敷市玉島爪崎746-12
TEL:090-3746-8807



高知県

高知県内には60名程の学芸大出身者が在住し、年に1回程度懇親会を開催し親睦を深めています。

平成30年3月28日(水)に実施しましたが、3年以上開催することができておりません。県内には20～30歳代の学芸大出身者も多くいるようですので、大人数での集まりを気にしなくてよい雰囲気になった後に、懇親会を開催したいと思っております。もう少しの我慢です。

高知県に在住されている方で、この「支部だより」のペースを読まれた方は、支部長の宮地か事務局の中山のメールアドレスまたは携帯電話まで連絡をいただきたいです。また、高知県内の学芸大卒業生所在の情報がある場合にも連絡をください。懇親会の案内をさせていただきますのでよろしくお願いします。和気あいあいとした和やかな会です。

ちなみに平成30年3月28日の参加者は、1974年卒D類保体科 宮地彌典(高知支部長)、1975年卒D類書道科 大西正子、1977年卒D類保体科 柚村 誠(副支部長)、1977年卒D類美術科 西 緑、1985年卒D類数学

科 黒瀬忠行、1988年A類保体科 宇賀孝篤(副支部長)、1988年卒A類理科 若江卓恭、1989年卒D類保体科 西内一人、1992年卒N類生涯スポーツ科 池添伊佐子、1994年卒A類数学科 田所良夫、1990年卒B類数学科 松山 宰、1990年卒D類数学科 中山泰志の12名でした。

支部長 宮地彌典(1973年D類保体科卒)

TEL:090-5911-5088

メールアドレス:m-hirosuke@miyajigakuen.jp

副支部長 柚村 誠(1977年D類保体科卒)

宇賀孝篤(1988年A類保体科卒)

事務局 中山泰志(1990年D類数学科卒)

TEL:090-4976-9220

メールアドレス:k_kobun4769@docomo.ne.jp

香川県

今年度は、コロナ禍のために年1回開催していた香川県支部会を実施することができませんでした。

そのため、辟雍会通信を会員に送付するくらいのことしかできません。残念でしたが次回を期待しています。

これからもできるだけ多くの卒業生に案内し、会員数を

もっと増やしていきたいと考えています。

昨年度から事務局担当者が、笠井真希子さん(H8年度卒)から横山彩友美さん(H23年度卒)に代わりました。

よろしくお願いします。

香川県支部 原 彪

東京学芸大学辟雍会支部連絡先一覧(2021年11月現在)

①北海道支部 連絡先 中村雅之

TEL:090-2874-2945 E-mail:m-nakamura1125@outlook.jp
カムバック・サーモン!北の大地(北海道)は、皆さんの凱旋を待ってまーす。

②青森県支部 連絡先 里村 輝

TEL:090-8781-7482 E-mail:satomura-akira@m05.asn.ed.jp
学芸大青森キャンパスでは、同窓生が楽しく友好を深めています。
夢の続きを青森で。まずは連絡ください。

③岩手県支部 連絡先 日野澤明彦

E-mail:ptf62-akihiko-h@iwate-ed.jp
故郷岩手での皆様のご活躍を期待しています。スポーツの力で岩手を元気にしていきましょう!

④宮城県支部 連絡先 高橋 晃

TEL:090-3647-2395 E-mail:akira30213@ezweb.ne.jp
卒業・修了おめでとうございます。宮城の教育のためにはやくこっちゃん来てがんばってください!!

⑤栃木県支部 連絡先 柏瀬省五(かしわせ しょうご)

TEL:0284-62-6229 E-mail:shogoka@ca3.so-net.ne.jp
故郷へのリターン、心から歓迎。故郷の教育、文化、スポーツ、みんなで楽しみながら、発展させよう。待ってるからね!

⑥群馬県支部 連絡先 須永 智

TEL:090-7849-1059
本年度は、コロナ禍の中ですので、名簿整理に取り組みます。
学校で1・2名の同窓生ですので、是非、横のつながりを持ちましょう。

⑦埼玉県支部 連絡先 阿部博之

TEL:048-862-6857 E-mail:h-abe618@xa2.so-net.ne.jp
「こころ、咲いたまま、」こころを通じ合い、一緒に埼玉を盛り上げましょう!若い力を待っています。

⑧千葉県支部 連絡先 石井康雄

TEL:047-438-9380、090-3472-3788 E-mail:ishaso.fuki@gmail.com
千葉県在住の同窓生のネットワークが必要です。千葉県支部へ加入してください。お待ちしております。

⑨神奈川県支部 連絡先 原 英喜

TEL:090-9800-5831 E-mail:hhara@kokugakuin.ac.jp
「生きるを学び続けた日々、これからは社会に通ずる人として歩む道になります。
「一日一生」を心して優しく優しく運しく運しくね。」

⑩山梨県支部 連絡先 鮎澤 譲

TEL:080-1217-1364 E-mail:yayuzawa@outlook.jp
会員の輪をさらに広げ、楽しく集いたいと思っています。気軽に連絡ください!

⑪新潟県支部 連絡先 玉木 浩

TEL:090-9741-7520 E-mail:h01tamaki@yahoo.co.jp
早よお帰ってきなせて。おめさん方待ってるて。～越後に輝く獅子の星座のもと、集い、語り、絆を深めよう～

⑫富山県支部「獅子の会」 連絡先 草野 剛

TEL:076-445-2803(勤) E-mail:kusano@fes.u-toyama.ac.jp
富山では280人以上の方ががんばるとるよ。富山に戻るときには連絡しられ。まっとうちゃ。

⑬石川県支部 連絡先 新村 裕二

TEL:090-5689-5618 E-mail:yuji-shinmura@kanazawa-city.ed.jp
ふるさととは、あなたの帰りを待っとるよ。新幹線かがやき号で帰ってきまっし!

⑭福井県支部 連絡先 小林弥寿夫

TEL:090-8704-7562 E-mail:y-koba2020@lime.plala.or.jp
かたいんげのお! うらら、あなたが福井へ帰ってくるの 待ってるんやざあ 早よお～帰ってきねの!

⑮静岡県支部 連絡先 大石 茂生

TEL:090-2617-7616 E-mail:shigeo-yasuko02@za.tnc.ne.jp
卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。静岡県で教職に就かれるみなさん、私たちは心より楽しみにお待ちしております。現役の方々、OB・OG、一体となって子どもたちのためにがんばりましょう。

⑯近畿支部 連絡先 里 昭憲

TEL:090-5654-3024 E-mail:kurosan19@gmail.com
『よーし、明日から、また頑張るで』のエネルギーを持って帰って頂ければ嬉しい限りです。いつでもご連絡ください。

⑰鳥取県支部 連絡先 武田基資

TEL:0858-22-2037 E-mail:takeda_mt@mailk.torikyo.ed.jp
県人会発足から33年。砂丘も大山も三徳山も、あなたの帰りを待っています。まずはご連絡ください。

⑱島根県支部 連絡先 玉林尚之

E-mail:tamarin511@sky.megaegg.ne.jp
先輩はみな活躍しとるよ!あつたかふるさと島根は若い力まちょーけん
まめで帰ってきんさいや!

⑲岡山県支部 連絡先 宰裕一(さいしょう ひろかず)

TEL:090-3746-8807 E-mail:hy-tnk@mx1.tamatele.ne.jp
晴れの国岡山で待つとるけーなー!帰ってきたら連絡してーよー。美味しい肉や魚や野菜や果物をみーんなで、食べーよー。楽しみにしてるで。

⑳広島県支部 連絡先 田中信也

TEL:090-4806-7177 E-mail:s_tanaka@hiroshimaymca.org
広島に戻ったときはぜひ連絡を。個性豊かな先輩たちがお待ちしております。

㉑香川県支部 連絡先 原 彪(はら たけし)

TEL:090-8699-3434 E-mail:st-hara1128@ma.pikara.ne.jp
地元香川にはうどん以外にも全国に誇れる文化や産業がたくさんあります。東京で磨いたみなさんの力でそれらをさらに素晴らしいものにしていこうで。そのために故郷に帰ってこいや。先輩もたくさんおるで。

㉒高知県支部 連絡先 中山泰志

TEL:090-4976-9220 E-mail:k-kobun4769@docomo.ne.jp
高知県出身者はもちろんのこと、高知県で働いてみたい方、是非連絡をください。みなさんを学大卒業生一同お待ちしております。

㉓佐賀県支部 連絡先 小松原修

TEL:090-1089-8832 E-mail:samukomatsubara@yahoo.co.jp
教育に携わる卒業生とマスコミに携わる卒業生でがばい調和がとれています。パルーンに乗って同窓会してます!

㉔熊本県支部 連絡先 藤田まり子

TEL:096-357-9417(勤) E-mail:fujita.marikoB@city.kumamoto.lg.jp
阿蘇に負けんパワーと、天草の海のごて綺麗な心で、熊本の学校を元気にすためにがんばってるばい!

㉕大分県支部 連絡先 瀬口卓士

TEL:090-9070-2962 E-mail:seguchi-takuji@oen.ed.jp
「田舎暮らし日本一」を目指して、しらんけん大分を元気にするで。わーけえ先輩もだーね増えて、みんなで40名こえたんで。心も体もあつたまる温泉県にもどったら、いつでん連絡してな。待つちよるけん。

㉖宮崎県支部 連絡先 村中田博

TEL:090-8831-8076 E-mail:hm110629@gmail.com
300名くらいの名簿ができたっやがー。卒業生がでげ活躍しちよるよー。みんな誰かとつながっちゃって、てげおもしろいっやがー。ひつたまがるわ。連絡しないよー。待つちよるよー!

㉗鹿児島県支部 連絡先 雲井未歆

TEL:099-285-7766
鹿児島では、桜島が毎日噴煙を上げています。その力強い始動は鹿児島島の全ての同窓に届いているはず。支部の和も同じように広がってほしいと願っています。

㉘韓国支部 連絡先 金 範洙(ギンボンズ)

TEL:090-6106-0493 E-mail:bskim77jp@yahoo.co.jp

【これまでに設立された辟雍会の各支部では、皆さんからの連絡を待っています】
◎「新しく支部を設立したいとお考えの方、その他お問い合わせは<東京学芸大学辟雍会事務所>へお願いします。

会 員 か ら

学芸大学40年

東京学芸大学名誉教授・辟雍会幹事長 松村 茂治

私は、昭和41年(1966年)に本学「教育・心理科」に入学し、45年(1970年)に卒業しました。その後、5年ほどの大学院生活を経て、昭和50年(1975年)、縁あって本学に迎えていただき、平成22年(2010年)まで勤めました。学生時代4年(浪人1年)、教員時代35年の計40年の学大生活ということになります。

私が入学した「教育・心理科」は、教育心理科ではなく、教育・心理科と書き、教育ポツ心理科と呼んでいました。それは、教育心理学を学ぶのではなく、教育学と心理学を学ぶからだと教えられました。学科名は在学中に学校教育科と変更されました。その後の組織・名称の変遷については割愛します。

ここで多くの仲間、先輩・後輩、先生方、学生さんたちと出会い、私が今あるのは学大のおかげとの思いがあるからこそ、こうして辟雍会での役を務めることになったのですが、具体的な出来事として思い起こすのは、良い思い出というよりは、失敗したり恥ずかしかったりすることばかりなのが不思議です。

まず思い出すのは、入試を控えて願書もらいに行ったときのことです。都内の大学を受験する友人と一緒にあちこちの大学を巡った際、東横線の学芸大学駅から徒歩で、学芸大学と名のついた学校まで出向いたのですが、窓口で言われたのは、そこは附属高校で大学は2年前に武蔵小金井に移ったということでした。もちろん、大学が小金井にあることは知ってはいましたが、かつて本学は「たこ足大学」と言われていて、あちこちに点在しているというイメージが強かったので、世田谷にもあるだろうと思っていたのです。

入学に際してそういう具合でしたから、卒業時にも失敗がありました。大学院進学を卒業間近になって決めたために、準備不足は否めず、留年・浪人どちらにするか悩ん



辟雍会理事会後の懇親会にて
(2019.5 左は当時の馬淵貞利会長)



現在の大学附属高等学校(後藤貴裕副校長提供)

だあげく、留年することに決め、4年後期に履修していた指導教官の授業の単位を落としてもらいに頼みに行くと、すでに事務処理が済んでしまったので出来ないと言われ、やむなく(?)卒業し、浪人することになりました。

その前にもう一つ恥ずかしいことがありました。私は、卒業するにあたって、教員免許の申請をしていませんでした。教育・心理科はゼロ免課程ではないので、教員免許取得に必要な単位はそろえてありましたが、浪人を決めた際に、言わば退路を断つとの思いから、申請をしなかったのです。不申請自体は恥ずかしいことではありませんが、それをすっかり忘れていたのは情けないことでした。



辟雍会全国代表者会議にて司会を務める
(2019.11 左は臼木信子副会長)

本学に就職して間もなく、事務の方から、「教員免許は持っていますね?」と聞かれ、「もちろん、学大卒ですから」と、自信を持って答えた覚えがあります。事務の方に質問の意図を尋ねると、将来の附属学校長の候補者をチェックしている、との答えでした。当時、まだ20代でしたから、

校長など全く別世界の話でした。

ところが平成12年(2000年)、予想もしなかったことがこの身に降りかかります。何と、願書をもらいに行ったあの附属高校の校長に任命されたのです。そのとき、教員免許保持が条件だったら校長はなかったのですが、1年前に制度が変わり、免許がなくとも附属学校長になれるようになっていたのです。何の訓練も受けず、まさに「赤紙」のような任命ですから、自慢できるような仕事をするには難しいものがありました。

その後、学大退職時に、ある事情があって都に問い合わせたところ、免許不取得が判明し、卒業時に申請をしなかったことを思い出した次第です。

大学の入口と出口に関してだけでもこの通りなので、あとは推して知るべしというところですよ。思い出だけで赤面するようなこと、ここには書けないようなことはいくつも思い出せるのですが、そうではないことはなかなか思い出せません。そもそも、人に自慢できるような経験はなかったのではないかと、自信喪失することしきりです。

1970(昭和45)年卒業 A類教育・心理科専修

会 員 か ら

東京オリンピックを経験して

2



積水化学女子陸上競技部 ト部 蘭

2021年8月2日9時45分。新国立競技場で行われた東京オリンピック陸上女子1500m。そのスタートラインに立ち、号砲とともにスタートしました。日本女子初の1500mオリンピック出場。その景色をしっかりと心に焼き付けました。

小学5年生から陸上を始め、将来の夢には「陸上選手になってオリンピックに出る」と綴ってきました。そこから数十年。沢山の方々に支えていただきながら、小学生の頃に抱いた夢に向かって日々積み重ねてきた結果、憧れの舞台に立つことができました。

東京オリンピック出場までの道のりは苦難の連続でした。新型コロナウイルスの影響で競技場が使えなくなったり、記録会がなくなったり、最終的には東京オリンピック自体も開催されるかどうか分からない状況にもなりました。そんな時、私の支えになったのは、学生が主体となって活動する東京学芸大学陸上競技部で培った『自ら考えて行動する





力』と、所属していた研究室のホワイトボードに書かれていた『ないないは工夫が足りない』という言葉でした。

競技場が閉鎖されて使えない。記録会が中止・延期になり開催されない。ないものに目を向けたら、きりがありませんでした。しかし、そんな時「競技場が使えない分、公園や道路を使っていつもより走る距離を増やして持久力向上に繋げよう!」「今は自宅でもできる基礎的なトレーニングを多く入れて身体の基盤づくりを丁寧に行おう!」など、ないものに目を向けるのではなく、あるものに目を向けて『では今なにができるか』を自ら考えて行動した事が、東京オリンピック出場へと繋がったと思っています。

東京オリンピックは無観客となってしまったものの、選手村や大会会場ではボランティアスタッフの方々が笑顔で挨拶してくださったり「頑張ってください!」と応援してくださったり、いたるところで勇気をもらいました。レース招集所からスタートラインまでの通路では、ボランティアスタッフの方々が拍手で送り出してくださりとても感動しました。そんな大会は今まで経験したことがなく、世界的にみてもそのような大会はめずらしいと思います。選手村から新国立競技場へと向かうバスで隣に乗り合わせたドイツの選手からも「日本の人たちがいろいろなところで頑張ってください!と応援してくれる。日本って素敵な国ね!」と声をかけてもらいました。日本のおもてなしの心、思いやりの心を感じ、同じ日本人としてとても誇りに思いました。

選手村では、各国の国旗などがデザインされたピンバッ

ジが選手やスタッフに配られ、ピンバッジ交換が行われて国際交流のきっかけとなっていたり、また、ダイニングでは世界中の人たちが食事を摂りやすいよう、ワールド・アジア・ピザパスタ・日本食・グルテンフリーなど、様々な食文化に対応しており、調味料やスパイスなども沢山の種類が揃っていました。オリンピックは世界中の選手・スタッフが開催国に集います。多種多様な文化や価値観に寄り添いながら、互いを理解し、より良い未来へと繋げるための工夫がさまざまなところで行われていました。

東京オリンピックを通し、そこで発見したこと、感じたこと、学んだことなどをしっかり自分の言葉で伝える。そこに一つ、東京オリンピックに出場した一選手としての役目があると思い、小・中学校で講演をさせていただいたり、noteに選手村の様子をまとめて投稿などをしました。noteでは記事を読んでくださった方々から「選手村をめぐったような気持ちになりました!」「ピンバッジ交換されているのを初めて知りました!」など、多くの反響をいただき、これからも少しでも多くの方々と感動や学びを共有できる存在になっていきたいと思いました。

2024年には、パリでオリンピックが開催されます。そこに向かって、競技力向上と共に、オリンピック憲章に記されているような人間性を育みながら、これからも一步一步積み重ねていきたいと思っています。

2018 (平成 30) 年卒業 G 類生涯スポーツ専攻

会 員 か ら

教育に三本目の柱を

教育YouTuber 葉 一

3



教育YouTuber

2012年6月1日、YouTubeチャンネル「とある男が授業をしてみた」を開設し、授業動画の投稿をスタートしました。それから約10年、私は教育YouTuberという肩書きで活動を続けています。今でこそYouTuberという言葉の認知度は高くなりましたが、2012年頃はまったく認知が無い時代です。それに、当時は投稿されているものも違法転載なども多く無法地帯になっていましたので、そんな場所に教育を混ぜた人間ということ でかなりのバッシングを受けました。それでも「必ずこの活動が子どもたちにとって必要となる日が来る」という信念を持ち続け、その結果、現在では166万人の方に私のチャンネルを登録して頂き、累計の視聴回数も5億回を超えるチャンネルへと成長することができました。

教員採用試験を受けずに一般企業へ

結論から言うと、私は教員採用試験を受けずに就職活動を経て営業職の会社に就職しました。その後、塾講師へ転職、そして独立という道を辿っています。よく「なぜ教員採用試験を受けなかったのですか?」という質問を頂くのですが、シンプルに答えてよいなら「修行がしたかったからです」と伝えるようにしています。ちなみに就職活動は大苦戦しました。30社弱受けて内定を頂けたのは1社のみ。今振り返れば成長ができた期間だったと懐かしむことはできますが、もう一度やれと言われたらゆっくり首を横にふりますね。そのくらい辛い時期でもありました。

修行のはずがドクターストップに

私が教員採用試験を受けないと決めたのは教育実習



のときです。理由はいくつかありますが、主な理由としては「先生たちの多忙さを目の当たりにし、私の目指す教師像に近づくには時間がかかると思ったから」「一度、一般企業で経験値を得てから子どもたちの前に立った方が色々な話ができると思ったから」この2点です。だから就職先を選ぶときによりきつい仕事をしたいと思いました。その方が短期間で多くの経験値を稼げると思ったからです。そして営業マンとなりました。相当きついぞ、という話は先輩方から聞かされていたので、ある程度は覚悟していましたが甘かったですね。自分の心が折れる音を何度聞いたか忘れるほど毎日打ちのめされていました。その結果、大学時代に患った持病が悪化しドクターストップとなります。実働できたのは約半年でしたが、それでも対人スキルやトークスキルなど得たものはとても大きかったですし、今の動画作りにはすごく活かされています。

所得格差=教育の機会の差

その後、塾講師に転職し丸三年働きました。そして、ここでの経験が教育YouTuberへのきっかけとなります。私の働いていた地域は地方の中では塾激戦区で、多くの塾がありました。つまり選択肢が多い状況だったのです。ですが、保護者の方から月謝や講習会費の関係で、ご家庭によって選ぶことのできる塾に差があるという話をよく耳にしました。

我が子は個別指導塾の方が合っていると思うし、本人も行きたがっている、それでも月謝の関係で通わせ

ることができない。こういった状況を聞かたびに「子どもたちから直接お金をもらわずに教育を届けることはできないだろうか」と考えるようになりました。それが今の活動へと繋がっています。

教育に三本目の柱を

「教育はお金をかけるもの」という考え方を否定するつもりはありません。ですが、無料でも学ぶことができる、その選択肢が日本にはあるんだということをより多くの方に知ってもらいたいのです。

「〇〇は誰の動画で勉強してるの〜?」

そんな会話が子どもたちや保護者の中で起こるほどに浸透させるのが私の目標です。

最後に

私は教育の幹は公教育だと思っています。私はサポートツールの一つでしかありません。ですが、形は違えど「子どもたちのために」というベクトルは同じだと思っています。まだまだ公教育と水と油のような構図を作られることもあります。いつか学校の先生方とプロジェクトやイベントをするなどして、一緒に子どもたちのためになるものを作れたらと思っています。その日が来ることを信じ、私は今日もビデオカメラに向かって授業をしています。

2007 (平成19) 年卒業 A類数学専修

会 員 か ら

「南極せんせい」のメッセージ

茨城県立守谷高等学校教諭 北澤 佑子

4



1. はじめに

今年度ご縁あって、中等理科教育法Ⅱの公開授業において講演の依頼を受け、2021年7月26日に後輩たちへ講演をさせていただきました。久しぶりに母校を訪れ、すっかり綺麗になった国分寺駅前や大学構内にびっくりしましたが、変わらない風景もあって懐かしい気持ちになりました。

出身は茨城県筑西市、茨城県立水戸第一高等学校卒業。座右の銘は「至誠一貫」。現在、茨城県の高校教諭9年目になります。

私は、第61次南極地域観測隊の同行者として約4ヶ月間、南極で活動してきました。国立極地研究所などが行う「教員南極派遣プログラム」に応募し、教育関係者としては全国からただ一人、茨城県からは初めて選ばれました。

2. 高校教師、南極へ

南極での観測中、ふと振り向くと「おおーい、きたぞ わせんせーい」と呼んでいるかのように、両手を広げて私を追いかけてくるアデリーペンギンの姿があり、好奇心旺盛で愛らしく感じました。ペンギンはか弱い生き物と思っていましたが、過酷な環境の中でたくましく生きていました。か弱いのは人間の方かもしれません、南極に行って「生かされている」ということをまざまざと感じました。

5歳年下の妹は結節性硬化症という難病があるため、私は医師を志していました。水戸一高まで片道約2時間かけて通学しましたが、医学部受験は不合格。思い悩んでいた時、妹の主治医に「あなたが向き合いたいのは、人なのか、病なのか」と問われ、胸に響きました。考えをめぐらせていた時、高校の恩師に「北澤が教師



南極授業



南極観測船「しらせ」とペンギン(昭和基地沖海氷上にて)

になったら面白いかもな」と言葉をかけられ、教師になろうと決意しました。そして、東京学芸大学へ進学しました。

南極との出会いは、筑波大学大学院1年の時。観測隊員だった教授の講義で未知の世界があることを知り、南極に憧れました。南極について調べていく中で、「南極は、科学も育てるが、人間も育てる」という国立極地研究所の先生の言葉に心が強く動かされました。子どもたちの人生に関わり、成長に携わる立場である教師として、南極を肌で感じ学びたいとの夢を抱きました。3度目の挑戦で南極行きが実現できました。

3. 「南極授業」、衛星回線でライブ中継

私の最大のミッションは「南極授業」。南極昭和基地と約1万4千km離れた茨城県とを衛星回線で結んでのLIVE中継を、茨城県自然博物館と勤務校の守谷高校と2回行いました。

授業での南極の生き物の観察実施を考え、氷の裂け目から生物採取に挑戦。だが、真の挑戦は採取した魚を授業当日まで生きたまま飼育することでしたが、本物の生きている姿を生徒に観察してもらいたいという思いを隊の皆さんが理解してくださり、命懸けで協力していただき成功できました。230人が参加した自然博物館の授業には妹が車いすで来てくれていました。

4. 終わりに

南極地域観測隊に同行して最も心に残っていることは、海上自衛隊や観測隊の皆さんとの共同・協働生活です。その中で、何事も他人事にせず、他者の幸せを願い、共有していこうとする「ともに生きる心」を感じました。私はその心を『南極魂』と名付けました。

南極から帰国後、写真展や講演会を学校等さまざまなところで実施しました。『南極魂』は、南極だけでなく私たちが生きる日常生活や社会においても大切なことだと思いました。「僕も南極に行ってみたい!」など、子どもたちが感想を伝えてくれました。

生徒は私を「南極せんせい」と親しみを込めて呼んでくれています。南極での経験を経て、本物・実物・現物を用いた観察実験の重要性を改めて実感しました。

最後に、私は新たな夢を描いています。それは、将来を担う高校生を南極に連れていくことです。南極の魅力を、『南極魂』を子どもたちにも直接学んでほしいと思っています。そのために私自身、冬の南極の姿も肌で学ばなければと考えています。

2011(平成23)年卒業 A類理科選修

会 員 か ら

潮が満ちたら急いで水を汲め

東京学芸大学附属世田谷小学校教諭 長坂 祐哉

タイトルは、タイのことわざです。チャンスだと思ったら、そのときを逃さずにチャレンジするべきだという意味です。何事も、楽しみながらチャレンジする。そのような心構えでいることによって得られた経験をお伝えさせていただきます。

1 バンコク日本人学校での3年間

教員になって15年が経った2017年。特段仕事に不満があるわけではなかったのですが、何か変化や刺激を求めていました。そのとき、耳に入ってきた『日本人学校』の派遣制度の情報。思わず飛び付きました。面接等を受け、無事に合格。赴任地は、『タイ・バンコク』に決定。その後は、書類作成や荷物準備等に追われる日々が続く。海外で過ごし働くことに少し不安も抱きました。そのようなとき、本会の小澤一郎先生がわざわざご連絡くださり、お話を伺う機会を設けてくださいました。バンコク日本人学校の歴史や本学との関係性、またバンコクの雰囲気など、大変貴重なお話を拝聴し、安心するとともに職務への意欲がますます高まってきました。そして、いよいよスワンナプーム空港に降り立ったのです。

児童生徒数約2500名、教職員数約250名の大規模校。北は北海道、南は沖縄まで。全国各地の先生方、そしてタイ語や英語の外国語教師、現地のスタッフと出会うことができました。校務分掌として日本人会会報誌の編集会議にも携わることができ、様々な職種の方々と交流を深めることができました。最終年度の3年目は、研究主任として校内研究の推進や学校採用の1・2年次研修を担当しました。現地の学校や教育施設を訪れる機会もありました。校内では年間100本を超える授業を観察し、授業者や校内の先生方とともにリフレクションも毎回行いました。考え語り合うことで、私自身の授業を振り返ることもなりました。



晋平太さんと子どもたち



教職大学院

また、ボランティア活動を紹介していただき、取り組むことができました。寺院の責任者の方が中心となって、発足しました。人身取引の危険にさらされている少女を救出・保護、就職の支援をしている団体があり、そこで料理を作って一緒に食べたり、日本語や折り紙など日本の文化を伝えたりもしました。私が想像もつかない壮絶な過去があったにも関わらず、明るくそしてしなやかに生きている少女たちに感銘を受け、私自身の生き方を問い直すきっかけとなりました。

2 HIPHOP型教育の導入

2020年3月に帰国し、4月より本校に戻りました。本校では、2020年度から「自分の学びを自分でデザインすることができる力を育むこと」を目的とし、独自の教育課程の一つとして「ラボの時間」を開設しました。「ラボの時間」とは、教師が設定したテーマのもと、児童自らが問題・課題を設定して探究する取組です。4～6年生の児童を対象としています。「哲学」「食」「服飾」「スポーツ」「言語」など、さまざまなテーマがあります。これを絶好の機会だととらえた私は、「HIPHOP」をテーマにラボを立ち上げました。実は私、若いころ、ダンスやラップをしていたのです。今でも、HIPHOPをこよなく愛しています。昨年度の探究内容は、HIPHOPの歴史やラップの特質である韻に関する分析・考察、そしてラップづくりでした。ラップづくりにあたっては、多方面で活躍されているラッパーの晋平太さん（一般社団法人日本ラップ協会、TWIN PLANET、RUDE CAMP RECORDS）にもご協力いただきました。その時の様子につきましては、ぜひ<https://youtu.be/4f-PBYxniR4>【ジブンラッパーこれが私ー】や<https://youtu.be/LbFv1FVa0uY>【Yo! 晋平



バンコク日本人学校集会の様子

ただRaps】をご覧ください。

また今年、追手門学院大学教育開発センターとの協働で、HIPHOP研究会も立ち上げました。大学教授や中学校教師、学生など多様なメンバーで構成されています。本研究会では、HIPHOPの要素を取り入れた教育の目標や内容、方法を模索しています。

3 東京学芸大学教職大学院での研鑽

そして、現在。2021年4月より、本学教職大学院にて研鑽を積んでいるところです。体育科教育鈴木秀人教授にご指導を仰ぎながら、来年度の専門学術論文提出に向けて励む日々を送っています。また、国際パカロレア教員養成特別プログラムも受講することができ、赤羽寿夫教授や藤野智子教授、星野あゆみ教授にご指導いただいております。

今後も、広く深く学び続け、社会や世界が誰にとっても豊かなものにしていけるよう努めてまいります。

2001（平成13）年卒業 A類保健体育専修



ボランティア活動

会 員 か ら

近年の気象災害とその原因

気象予報士・防災士 平井 信行
NHK首都圏ニュース854出演中

6



らが複雑に絡み合って気象災害を起こしています。海面水温の変化と言えば、太平洋赤道付近のペルー沖の海面水温が上昇するエルニーニョ現象や水温が低下するラニーニャ現象が知られています。太平洋では、もっとこれより長い十数年周期で変化をしています。太平洋だけでなく、インド洋や大西洋にも同様な海面水温の自然変動があります。また、火山活動が活発になると噴煙が太陽の光を遮り、地球の温度は低くなります。1991年にフィリピンのフィナツボ火山が大噴火した後、1993年に日本では大冷夏になり、コメの不作の影響で輸入をすることになりました。太陽活動も強まったり弱まったりして、地球に届くエネルギーが変化しています。そして、最近では温室効果ガスの増加による地球温暖化の影響が加わり、気象災害が増幅しているものと見られます。

気象災害を起こす気候変動の現状

気候変動の一つ、気温の長期的な変化から見て行きましょう。長期的には気温が上昇していることはご存じでしょうが、国内において100年あたりの気温上昇は約1.5℃です。これは、網走や石垣島などの都市化の影響の少ない15地点を選んで計算されたものです。一方、東京や大阪など大都市の100年あたりの気温上昇は約3℃です。つまり、長期的な気温の上昇は、大都市においては都市化の影響がかなり大きいことがわかります。ですから、二酸化炭素やメタン、一酸化二窒素などの温室効果ガスの削減だけでは気温上昇の抑制につながらず、都市化の影響を緩和させる必要があります。都市化も私たち人類の活動によって世界中のどこでも起こっていて、熱中症などの危険度を高めています。

近年の気象災害は、気象庁が命名したものでは「令和元年東日本台風」、「平成30年西日本豪雨」などがあり、気象研究所によればこれら二つの総降水量に対する地球温暖化の影響は約10%前後だったとしています。

気候変動の原因は、地球温暖化だけではない

地球温暖化が気候変動のすべての原因だと思っている人も多いでしょうが、実はほとんどは自然変動が原因で起こっています。海面水温の変化や火山活動、太陽活動などが気候変動の自然要因の主なもので、これ

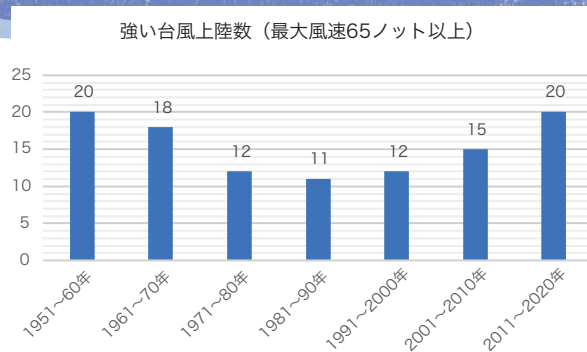


図1 注釈 65ノット以上=強い勢力の台風

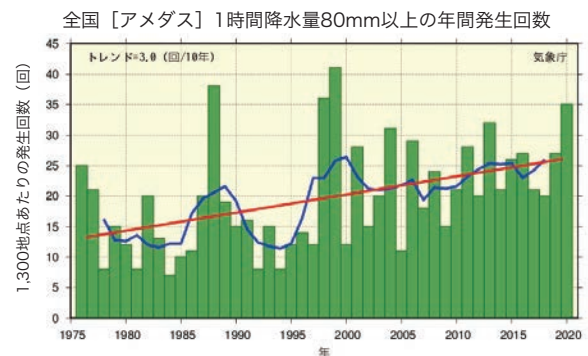


図2 注釈 赤線は長期変化傾向 青線は5年間移動平均

次に、台風はどうなっているのでしょうか。強い台風（中心付近の最大風速65ノット=33m/s以上と便宜的に定義）の上陸数（図1）は、現在、1950年代と匹敵するような多さとなっています。1950年代は、伊勢湾台風、狩野川台風、洞爺丸台風など気象庁が命名した甚大な災害をもたらした台風が日本列島を襲っていました。強い台風の上陸数はその後、一旦は減少しましたが、近年は令和元年東日本台風や令和元年房総半島台風など増加傾向にあります。この長期的な変化は、太平洋の数十年周期の海面水温の変動も関係しているとみられ、近年は地球温暖化の影響も加わっているようです。

最後に、雨量はどうなっているのでしょうか。1時間に80mm以上の猛烈な雨は、10年あたりで2回の増加となっています（図2）。令和元年東日本台風などの強い台

風の上陸や平成30年西日本豪雨の大雨などが原因で増加しています。また、日本列島周辺の海面水温が上昇していることも、雨量増加の一因と考えられています。

自分の命は自分で守る

気象災害から身を守るためには、危険を察知したらその危険な場所から避難することが最も重要です。そこで、気象庁のホームページのトップページにある「危険度分布（キキクル）」（図3）を積極的に利用することをお勧めします。これは、1Kmメッシュでリアルタイムな土砂災害、洪水、浸水害の3つ危険度が、5段階に分けた色で今の自分のいる場所の危険度がわかります。このような高度化した気象情報を活用し、自分の命は自分で守る行動をとることが大切です。

1991（平成3）年卒業 A類社会選修

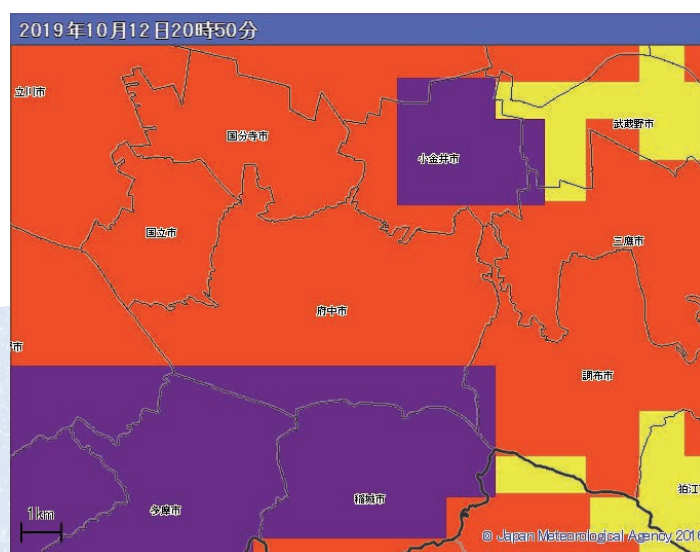
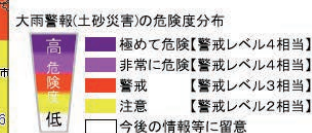


図3 令和元年東日本台風 土砂災害危険度分布(キキクル)



東京学芸大学辟雍会修学支援金貸与について

新型コロナ・ウィルス感染症等の影響で、東京学芸大学辟雍会の正会員である在学生が、経済的理由により修学困難な状況に置かれている現状から、迅速に修学支援金の貸与ができるように始めた事業です。事業は「原則として一人10万円を無利子で貸与する」というものです。

昨年度は2名の学生が申請しました。今年度は12月15日現在、0名です。

2021年度 各部活動報告

総務部

総務部は次の六項目を柱に、全体的な連絡調整を行っています。

- 1 全国代表者会議, 理事会, 幹事会等の開催
前年度同様, 文書会議(メール会議)による開催となった。
- 2 東京学芸大学との連携
前年度同様, お花見の会及び大学との意見交換会は, コロナ禍における感染拡大防止のため中止となった。

- 3 既存の卒業生組織等との交流
一般社団法人東京学芸大学同窓会総会は, 大学のS410教室において規模を縮小して開催され, ホームページで動画公開された。新年祝賀会はS410教室でオンライン開催の予定である。
- 4 新規会員の入会手続き及び名簿管理業務等
- 5 機関誌, 予算書, 決算書, 事業計画等の発送
- 6 規則等の整備・見直し

(総務部長 手塚穂治)

会計部

会計部は予算の作成及び執行を中心に次の活動を行っています。

- 1 2021年度予算の計画
- 2 予算の適正かつ効率的な執行
- 3 的確な会計事務の実施

(会計部長 佐藤節夫)

広報部

次の4つを柱に活動しています。

- 1 ホームページの管理と充実
- 2 機関誌『辟雍第18号』の発行
- 3 『辟雍会通信』の発行(ホームページ)
- 4 広報リーフレットの発行

(広報部長 小澤一郎)

組織部

昨年度に引き続き、会の組織拡大に努めました。

- 1 支部設立事業は、新型コロナウイルス感染症対応により、オンライン中心の働きかけが続いています。今年度も愛知県、兵庫県、山形県、沖縄県支部設立に向けての準備が進められています。さらなる支部設立実現に向けて、組織部内の組織づくりを進めています。
- 2 未加入の新入生に対し、7月12日に543通の入会依頼文を郵送いたしました。新規に22名から会費の納入がありました(11月30日現在)。今後も学生、卒業生への加入を勧めてまいります。
- 3 既存支部の総会や各支部の会合等への出席については、今年度もコロナ禍における感染拡大防止のため、出席が出来ない状況が続いています。
- 4 卒業・修了予定学生への配布物作成
昨年に引き続き、「卒業生・修了生のみなさんへ」(既存支部紹介)という案内パンフレットを配付するとともに、記念品(辟雍会の名称入りボールペン)を贈呈する予定です。

(組織部長 二宮修治)

事業部

今こそ新しいこと始めるとき、各種事業の定着、拡大、及び発展を支援します。

- 1 学生のキャリア支援事業
辟雍会学校等訪問事業は定着するもコロナ禍のため運営できず。
- 2 会員支援事業
 - ① 法律ゼミ活動記録の事例集作成出版の支援
 - ② 学生企画事業の支援
 - ③ 学生の地方支部先輩訪問の支援窓口は拡大中
- 3 ホームカミングデー講演会共催事業
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 4 キャンパス環境充実支援事業
ご当地桜・県木の苗木の植樹は調整中、受贈された樹木の見守り活動を継続中
- 5 東京学芸大学辟雍会修学支援金貸与事業
今年度の申請者は無かったが、前年度に2名の申請があり採択。
- 6 施設計画事業
「辟雍会館(仮称)」計画を鋭意構想中
- 7 創基150周年事業(新)
記念年を迎えるにあたって歴史的諸事業の創造と支援

(事業部長 荒川悦雄)



～県木記念植樹～
アカマツ
Pinus densiflora
2017年11月
寄贈 辟雍会岡山支部



～県木記念植樹～
榎の木
Aesculus turbinata
2016年11月
寄贈 辟雍会榎木県支部



～桜樹記念植樹～
醍醐桜
Cerasus spachiana 'Daigozakura'
2017年11月
寄贈 辟雍会岡山支部



～県木記念植樹～
豊後梅
Armeniaca mume 'Bungo'
2018年11月
寄贈 辟雍会大分県支部

あとがき

コロナ禍が、未だ終息の気配を見せず、早くも3年目に入ろうとしています。そして、昨近のウクライナの緊迫した情勢は、世界の多くの人が心を痛めているところです。

昨年の夏は、困難な状況下で東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。陸上で出場したト部蘭様からご寄稿いただいたことはたいへん幸運でした。また、本会の会員にはそれぞれの職場で目標をもってチャレンジを続けている方が多いことを知ります。なかには、職域を国内にとどまらず、海外にまで広げて自らを磨こうとしている姿に接します。そのような方々を引き続きご紹介していきたいと思っています。

このたび、ご寄稿くださった皆様に心より感謝申し上げます。また、情報をくださった各支部の皆様とは、いつか対面で情報交換ができることを願っています。

小澤一郎

発行人 長谷川正
編集人 小澤一郎
編集協力 中西 文 林 静代
デザイン 門馬 純
印刷所 (有)サンプロセス

東京学芸大学辟雍会

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

20周年記念飯島同窓会館 2 階

TEL/FAX 042-321-8820

E-Mail hekiyou@u-gakugei.ac.jp

ホームページ www.hekiyou.com





HEKIYOUKAI

辟 雍

2021 年 第18号
東京学芸大学辟雍会機関誌



学内長老ネコ シロちゃん
寂しい秋

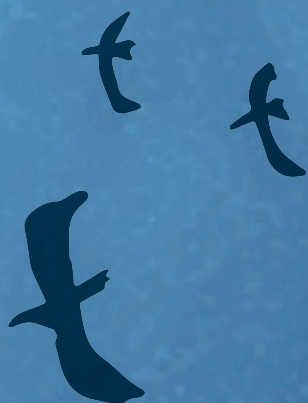


学士ネコのホープになりました
男前です

photo:Noriko Watanabe



見返り美猫 みいちゃん



「辟雍」第18号 東京学芸大学 辟雍会機関誌
Copyright © 2021 Hekiyukai All Rights Reserved.

www.hekiyou.com

